NO，２２
令和５年
１２月号

小地域福祉活動情報紙
“しょうちいきつうしん”

編集発行/葛飾区社会福祉協議会　小地域福祉活動推進課

今年度は、昨年度までの数年間とは違い、各地区で様々な催しがされていますね。区内の小地域福祉活動についても実に**４年振り**に**１９地区すべて**において活動（委員会活動含む）が再開されています。

活動や交流に制限がかかっていた数年間・・・皆さまにおかれましても忍耐（我慢）の連続だったのではないでしょうか。まだまだスッキリと喜べる状況ではないですが、また皆さまと一緒に「やりたい」「やってみたい」活動（取り組み）をしやすくなったこと、大変うれしく思っております。

実際の取組みをみてみますと、「おしゃべり」を存分に楽しんでもらうプログラムを組まれたところが数地区ありました。参加者の方は「久しぶりに沢山話ができてうれしい」とおっしゃっていました。

さて、今号では「東四つ木地区」の取り組みをピックアップし、紹介します。**世代を超えて**”体操”や”ゲーム”を楽しまれていました。”子どもから大人まで”一緒に楽しい時間を過ごすことで自然と歩み寄れることもありますよね。

・・・この出会いが良き縁となりますように・・

東四つ木地区 ハーブさくら会

10月平日 「健康体操」

園児11名と地域住民20名程が参加。
園児は身体をめいっぱい動かしながら
大きな声で「できるよ」とアピール♪
自然と会場全体は笑顔に＾＾。
大人は負けまいと本気モード♪
風船リレーは大人と子供が声をかけあい
楽しんでいました！

各地区の取組み紹介

9～10月に実施されたサロン・イベント🍁🍂🍃

各地で秋以降、様々な取り組みが行われています。より詳しい報告は、社協のホームページほか、各種SNS（インスタグラム、Facebook等）に挙げております。今後も順次あげますので、ご覧ください🎶

※下記に上げたもののほか、月１回以上定期的にサロンや取り組みを活動している地区（金町、東金町、高砂、奥戸、亀有、南綾瀬、四つ木）があります✨

東金町地区

9月土曜「いきいき安心健康フェア」

第15回目となる「健康フェア」。
葛飾区健康部長によるコロナ後遺症などに関する講演、健康サロン紹介、健康サロン（ボッチャ）体験会を実施。きね川作業所と葛飾福祉工場が自主生産品等を出張販売してくれました。

南綾瀬地区

10月土曜「出前寄席」

第15回目となる出前寄席。入船亭　扇好師匠はじめ、葛飾落扇指南所の方3名に来ていただきました。参加者の方から「友達と沢山笑って過ごせて幸せ」とのお声もいただきました。

立石地区

10月土曜「タッチ会」(サロン会)

年数回、サロン活動が行われています。今回は、サイコロの出た目でおしゃべりのテーマを決める「サイコロトーク」のほか、民生委員のピアノ伴奏に合わせて懐メロを歌いました。

お花茶屋地区

10月平日「健康講話」

青戸保健センター職員による「出張健康講座」では食事や運動のポイントを教えてもらいました。コンビニ弁当を選ぶ時の留意点など、分かりやすくお話しいただきました。
おしゃべりタイムでは「初対面の人と知り合いになれた」とのお声もありました。

10･11月連続　単発イベント･サロン実施地区

東立石地区①

10月平日「ふれあいサロン会」

「たいらいさおさんと歌おう」と題し、懐メロを歌いました。たいらさんの素敵な歌声にうっとりしながら、皆さん楽しそうに口ずさんでいました。その後のおしゃべりタイム（茶話会）も盛り上がりました。

東立石地区②

11月日曜「健康講座」

石川内科医院長に「健康寿命を延ばそう～健康に暮らす６つの秘訣」と題しお話しを伺いました。その後はゲームも行い楽しい雰囲気のまま閉会となりました。

青戸地区①･②

10・11月「特殊詐欺被害を防ぐために」

昨年度に引き続き、班活動を実施。５丁目・中青戸班では、東京都青少年・治安対策本部に特殊詐欺防止公演（寸劇）を披露していただきました。青戸公団班では、亀有警察署の方に途絶えることのない特殊詐欺の実態と被害防止策についてお話しを伺いました。どちらも分かりやすい学びの場となりました。

四つ木地区①

10月平日「歌声喫茶」

今年度2回目の歌声喫茶。
過去のアンケート結果に基づき構成されたプログラムでした。皆さん、思いっきり声を出して気持ちよさそうに懐メロを歌っていました。

四つ木地区②

11月日曜「ハンドベルとトロンボーン独奏演奏会」

ハンドベルはアイリスクワイアの皆さん、トロンボーンは岩崎智洋さん、ピアノは関根史恵さんに演奏いただきました。奏者の皆さんの音色は心地よく、参加者の方から「とても癒された」とのお声をいただきました。

こんな風に思われている方いらっしゃいませんか？

葛飾区社協ホームページ
「小地域福祉活動」とは

私たちには、日々の暮らしがあります。

その暮らしを自身や家族のチカラを借りながら維持できている方がいらっしゃる一方、誰かの「助け」を借りたり、誰かとの「交流」を楽しみたいけれどもうまくいかない（方法が分からない･情報が届いていない）といった方々もいらっしゃいます。

社協では、日々の暮らし（生活）における困りごとを、社協応援団になってくださっている方々のチカラを借りながら、少しでも解消できるように様々なサービスを行っていますが、暮らしのほんの一部に対してのサービス提供であるため、もどかしさを感じている職員は多くおります。

そのなかでも　ご本人が望むことは何か？　を考えながら、葛飾区や高齢者総合相談センター、民生委員児童委員さん等と連絡をとり状況把握をしご本人や家族とつながり続けられるように職員一同、努めています。

そこで皆さんに、伺います。皆さんの地域のなかで、「ちょっと気になる」「どうしてあげたら良いか分からない」等と思う方はいらっしゃいませんか。

今後、ますます地域活動が以前のように活発になるなか、地域のことを知っていらっしゃる皆さんの「気づき」をぜひ、たくさん教えていただきたいのです。そして、皆さんと一緒に、誰もが安心して住み続けられるまち（お互いを認め合える･優しさの溢れるまち）づくりをしていきたいのです。

引き続き、よろしくお願いいたします。何かございましたら、地区担当者へご連絡･ご相談くださいませ。★皆さま、今年もお世話になりました★

お知らせ　令和５年度　地域住民福祉活動情報交換会

今年も開催いたします！詳細は別途、チラシを郵送いたします。

日時：令和６年３月２１日（木）午後２時～４時30分（予定）
場所：ウェルピアかつしか　１階
内容：**講演**「新たなつながりで広がる地域の福祉力（仮題）」
コロナ禍で生まれた実践、担い手の掘り起こし、多様な人々の協働事例の紹介など（講師：日本社会事業大学　菱沼幹男氏）
高砂地区活動報告、グループトーク（他地区との情報交換）

※しょうちいきつうしん（情報紙）に関するご意見・ご要望については、お気軽に各地区担当へお伝えください。